

令和3年度 学校経営重点目標

広島大学附属福山中・高等学校

1. 中期計画について（附属学校園に関する目標）

【41】前年度検証，改善をおこなったグローバル人材に求められる資質・能力を育成する指導方法およびルーブリックを用いた評価方法を完成させ、その成果を広く公表する。

・昨年度まで取り組んでいた SGH・WWL で用いたルーブリック評価の結果に基づいて指導法の改善を行い、その成果を書籍として刊行する

【42】教育実習生に，グローバルマインドを育成する指導法や英語による授業展開の指導方法及びアクティブ・ラーニングなど新たな学びの方法の指導方法を習得させる。また，第4期中期目標期間におけるインターン受入のための制度設計を行う。大学院生のインターンシップ受入について，成果効果を引き続き検証する。

・総合科学部国際共創学科、大学院国際協力研究科、国際教育開発プログラムの外国人留学生をインターン(外国人学生インターン)として受け入れ、その成果を検証する。

・一部の外国人学生インターンと共同で、英語による授業を開発し、その成果を検証する。

【43】前年度の評価結果を基に，教員研修制度を包括的に検証し，必要に応じて改善する。また，西日本各府県等との交流協定の成果を検証し，必要に応じて改善する。

・これまでの教員研修の成果と課題を整理し、人事交流派遣教員の研修プランを検討する。

2. 昨年度からの継続事項

(1) 地域との連携強化

福山地域をはじめとし、広島県教育委員会、さらには研究活動を通じて得られた連携活動を強化し、本校の存在価値を高める。

(2) 快適で安全な学校環境の実現

生徒および教職員の健康と安全が保障されるよう、より快適で安全な学校環境を実現する。

・管理職および産業医との面談継続

・スクールカウンセリングの継続

・いじめ問題に対する組織だった対応の継続